



週報 佐土原ロータリークラブ

会長：村上 實 副会長：宮原建樹
 幹事：日高邦孝 会計：山本兼裕
 事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一

RI2730 地区ガバナー 山下浩三

中部分区ガバナー補佐 池田豊繁

RI 会長テーマ **奉仕を通じて平和を**

2730 地区テーマ 夢・誇り・挑戦

すばらしいロータリーへの再生

RI テーマ

奉仕を通じて平和を

例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地

例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347

事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1244 回例会 平成 25 年 1 月 30 日(水)

<今日のプログラム>

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
『我らの生業』
3. 会長の時間 4. 幹事報告
5. 出席報告 6. ハッピーBOX披露
7. 委員会報告 8. 会員卓話「柳田光寛君」
9. 新入会員相川さん挨拶と紹介
10. 点鐘

■第 1243 回の会長の時間 平成 25 年 1 月 23 日



● 会長 村上 實君
 皆さんこんにちは、
 本日は第 1243 回の
 例会です。

まずは私の好きなス
 ポーツの話題を話し
 たいと思います。今
 スポーツと言えば鵬

翔高校サッカー部の全国優勝ですね！地元宮崎の
 盛り上がりがいま一つ悪いのではないかと言う声
 が上がり私自身も不満を持ちましたが、26 日土曜
 日には優勝パレードも行われますが大変良いこと
 だと思います！

宮崎県内でも全国優勝をした競技・学校はあるわけ
 ですが、やはりそういった所にはいい指導者が居る
 わけです。又優秀な生徒も集まるとい流れにな
 っていますね。また非常に厳しい指導を行う場合が
 殆んどではないかと思ひます。今回大阪の高校で大
 変残念な事が起きてしまい、その事で国全体での議
 論が巻き起こっていますが私個人の考えとしては
 子供 3 人ともスポーツをしており厳しい指導を受
 けていましたが黙認しているところもありました。
 やはりここでも家庭での対応が重要なのかなと思
 います。わが子が殴られて帰宅した際にどのような
 対応をするか、成長するもくさるも親の言葉かけ一
 つで大きく変わるのではないかと思ひます。しかし
 この体罰問題は非常に難しいですね。

今後私達は孫の時代ですね、しっかり見守っていけ
 たらと思ひます。

今の子供達は昔ほど友達を持っていませんね、そう
 いう中でスポーツをしている子供達は比較的友達
 も多く関りあい方もスポーツを通して学ぶことも
 多いと思ひます。企業でもスポーツ経験者の起用を
 優先する事が多いのも色々な面で社会性・忍耐力な
 ど身につけているからだと思ひます。

去年の暮れから各界の著名人が亡くなられて大変
 残念な思いを皆さんもされておると思ひますが、
 我々もそういう年代に入っていきますので気をつ
 けて行きたいと思ひます。創立 25 周年記念の件で
 すが先日 7~8 名の方々に集まって頂き話し合いを
 持ちました日程を決めていたのですが、会場の都合
 もありまして、変更を含めてまた協議したいと思ひ
 ます。皆様の協力をお願い致します。

■幹事報告

- 幹事 日高邦孝君
 例会変更届け～無し
 ＊地区ロータリー
 財団～「補助金管理
 セミナー」開催の案
 内～＊日時・場所—
 2月10日(日)13:
 00~17:00 宮崎シー
 ガイアコンベンショ



ンセンター2階・4階いずれか未定＊対象参加
 者—現在及び次年度以降計画・立案を研究した
 いクラブ＊登録料—不要・資料代お1人500円
 ＊参加締め切り—2月1日(金)
 ＊クラブ会長・幹事・財団委員長の中から最低ど
 なたか1名の参加又は代理者

■出席報告

●出席委員長 原田宗忠君

会員数 23名(免
 除会員2名)

出席数 19名

出席率 85.7%

修正出席率

80.9%

欠席届 4名(村

岡君・相川君・大



久保君・梶田君)

■ ハッピーBOX 披露

● 親睦委員会 長倉祐一郎君



<ニコニコへ>

◎ 日高邦孝君～1月11日1時15分に初孫が生まれました。お陰様で母子ともに元気です。女の子です☆家族が増えにぎやかになり

り又楽しみが増えました。

◎村上 實君～サッカー日本一おめでとう！！

鵬翔高校サッカー部、宮崎にとっては最高です！！

◎ 永野陽子君～1月13日にかわいい一人娘が成人式を迎えることが出来ました。健康で20年間育ててくれたこと、生まれてきてくれたことに本当に感謝です。

◎ 正岡文郁君～1月誕生祝を有難うございました！1昨21日で満77才良く生きたものですが今しばらくはこの世におりたいと思います。どうぞお手柔らかにお願い致します。

◎ 田邊揮一朗君～1月誕生祝・吉田さんプレゼントを会社まで届けて下さってありがとうございました。家に持って帰って嫁に渡したら、子供の洋服のお下がりのお礼にと、早速ママ友の手に渡ってしまいました。がっかり！42歳まだ後厄なので気を引き締めて頑張ります。

<財団へ>

◎岩切 正司君～例会に出席しましょう！

■ 委員会報告 藤堂 孝一君
広報委員会の方から一つ提案をさせていただきます。これは中武君からの提案なのですが25周年記念に向けて、会員の皆様から原稿を戴きたいということで「私とロータリー活動」また「会社の社訓・モットー」この内容で原稿をお願いします。小冊子を作りたいと思います。

■ 会員卓話

●太田 忍君



今日何をお話しようかと色々考えておりましたが、現在までの職歴みたいなこととお話してみようと思います。現在の不動産業アサヒホームを創めて丁度20年になります。昭和47年にドライブインを開業しました。その頃はサファリパークが全盛期でしたので大変車の通りが多く随分繁盛しました。実家がうなぎの養殖をしておりましたのでうなぎをメインにしたメニューで

道路拡張に掛かることを機にこの店は閉め次に

「焼き鶏屋」を創めようと思ひ色々を探しておりました現在のアサヒホーム隣の「串八」がその店です。ここでも色々工夫とアイデアを出し頑張りました。その頃毎晩来て下さっていたお客さんが荒武会員です。楽しい思い出が沢山ありますが・印象深いのは、その頃串を100本食べたなら無料にするという事を言いましたら、本当に100本食べたのも荒武会員です(笑)ここは今の店主に譲りまして次に今の「おぐら」の店舗にアマンディというレストランを創めました。大変繁盛はしたのですが、なにせ従業員が多く人件費に莫大な金額がかかり、1日中忙しい生活でしたので身体に随分負担がかかりました。2年目には閉めることを考えておりましたが、またうまく閉める事が出来たのです。そこで次は縁あってモーター経営をしました。ここも収益は上がりましたが1日中拘束されるような仕事でしたので夫婦で住み込みの方を雇い、任せる事にしまして土地売買に興味がありましたので、資格を取り現在の不動産業を宮崎銀行の隣に事務所を構えたのが20年前です。その頃です・福井君と後藤君が事務所に来て佐土原ロータリークラブの入会を勧めてくれました。最初は友人もおらず例会に来て話することも無く楽しくありませんでした。半年位したら辞めようと考えていました。その後委員長などの役をするうちに慣れ友人も出来て楽しくなり現在に至る訳ですが、やはり一番良かったのは会長を引き受けたことです！これが大変いい経験になりました。色々な会長がありますが、ロータリーの会長を引き受けると毎週「会長の時間」として話をしますね、毎週の事ですから内容を考え資料を揃えたりするのに忙しい時などは大変な事もありましたが、結果的にはこれが大変自分の力になりました。経験されている方々はお分かりになると思いますが・本当に良かったと感謝しております。今後も色々な事を頑張っていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

■会員卓話

藤堂孝一君



皆さんこんにちは、本日の卓話ということで先週話した通り、宮崎交通の岩切章太郎翁の話をしてみたいです。岩切章太郎翁がロータリーの友(1969年5月号)に寄稿された記事が掲載されていたのをインターネットの源流の会で見つけたのを皆さんに配布いたしました。職業は奉仕のための場と題して岩切章太郎さんが思うところを丁寧に書かれています。私が、コピーではなくワープロで作成してみました。途中から文章の中にむつかしい言葉が随所に出てきます。辞書で訳しながら作成

しましたが、仏教界の言葉や名言が出ているのに気づいた次第です。みなさんも一読して難しいところもあると思いますが、職業奉仕について今から44年前にこのようなことを議論されていたのかと感心してしまいました。

今まさに、ロータリーの原点である職業奉仕について地区を上げてあらゆるところから熱く語られているのを現実として感じる時に岩切章太郎翁が60歳の時に思われていたのを思うと感慨深いものがあります。

佐土原RCの20周年記念式典に記念講演をお願いしたのが、宮崎交通に勤めておられた渡辺綱纒先生でした。

その時の演題が『心配するな、工夫せよ』でした。昭和28年4月に宮崎交通に入社されて当時の岩切章太郎社長の話をされたのですが、宮崎RCの創立時の初代会長が岩切さんでした。当時、全国の主要都市にRCが次々と誕生していたそうです。その時に全国から来賓としてロータリーアンが認証状伝達式に参加されたそうです。約300名の方が全国から宮崎にこられ素晴らしい接待を宮崎交通の職員等で引き受けられたそうです。そうした暖かい人柄、地域性などが評判となり観光宮崎のルーツになったそうです。先週話したように大分の別府や由布院温泉の開発の先駆者であった亀の井ホテルの創業者油屋さんも宮崎RCの創立より2年ほど早く大分RCが認証設立されているのでした。当時の地域に貢献していた名士の方々が次々とRCに入会されて各地域の発展に寄与されていたのだらうと思う時に、当時60歳だった岩切さんが職業奉仕について、非常に熱心に語られていたのをこの冊子を読み少しは、職業奉仕のことを理解できたような気がします。

●3分間スピーチ



正岡 文郁君

今、藤堂君の卓話に岩切章太郎さんのお話が出て参りましたがこの方は私が神戸に居る頃に私の師匠の会が毎月大阪で行われておりました

に岩切章太郎氏は毎月参加されておりましたが師匠の禅の話を真剣に聞いておられました。宮崎交通から「無尽灯」という冊子が出ておりましたがそれに毎月お話をされておりましたがその時の話を掲載されておりました、禅の勉強をよくされた方でした。藤堂君の話で懐かしく思い出しました。

次週予告

- 2月6日フォーラム 世界理解について
- 2月13日会員卓話 林 萬松・正岡文郁
- 2月20日ゲスト卓話



4つのテスト 『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか